

title

合板をムダなく使った箱

designer

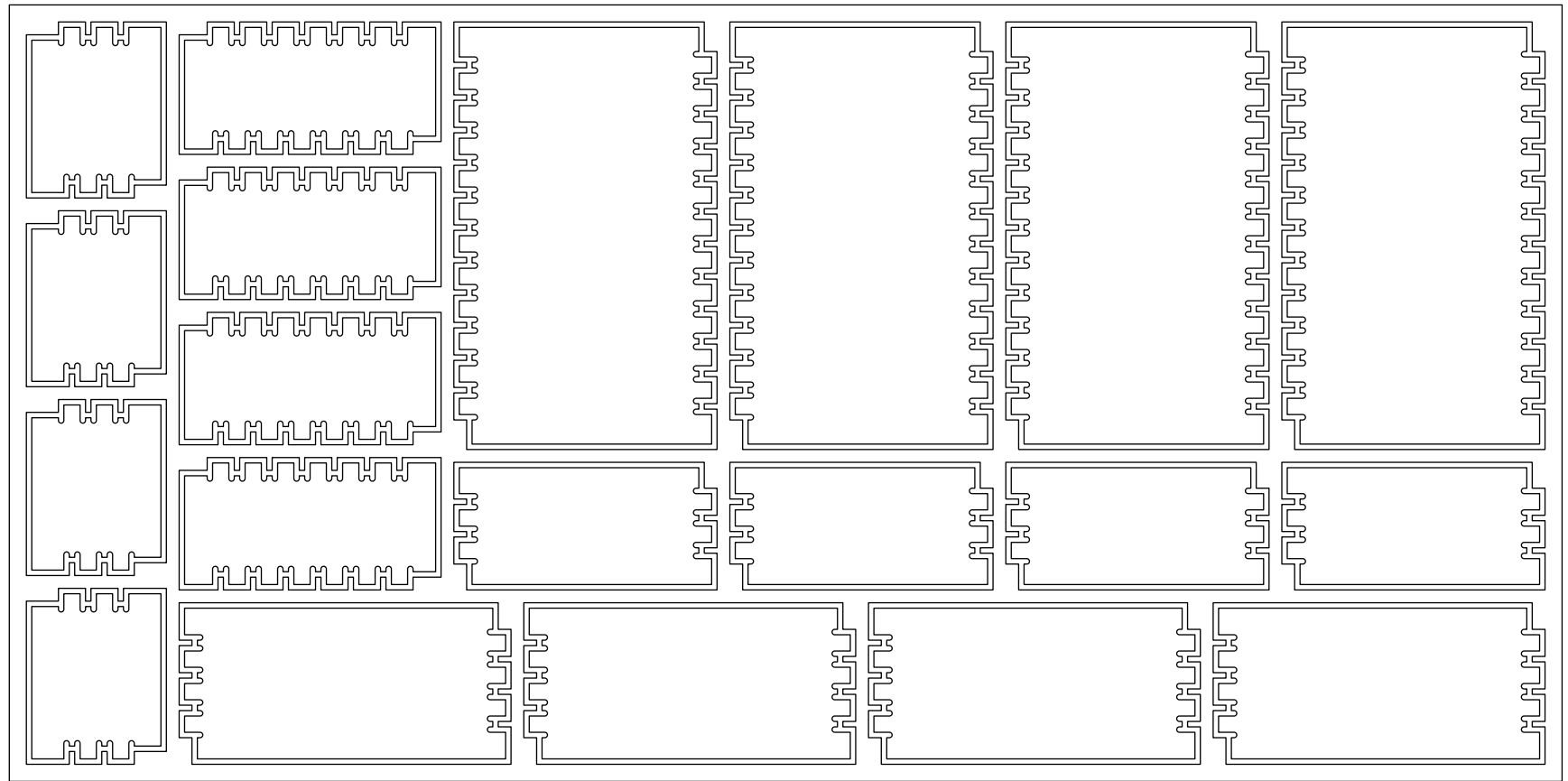
FabCafe x noiz architects

concept

家具の形を自由にカスタマイズして、その型紙を同時に自動作成できるアプリケーションを開発することで、1つひとつの型紙が全て異なる多品種少量家具のシステムを考えた。通常1つの製品につき1種類のみ必要とされる型紙の概念を捉えなおすような、家具のプロトタイプを提案することを試みている。家具の形は、誰でもオンライン端末等による操作で簡単かつ直感的に変更可能で、最大で5つ分の大小様々な箱状の家具の展開図が合板1枚に無駄なく敷き詰められる。型紙は設計図としてだけでなく製作用のデジタルデータとして保存され、そのまま加工機械に入力するだけで合板から必要な部材を切り出すことができる。部材同士が噛み合うジョイントの形状は、使用する加工機械のビット(刃物)が通った痕跡をあえてデザインとして残すことで、家具のキャラクターとした。完成した箱状の家具は、重ねた棚として使用したり、移動してスツールやコーヒーテーブルとしたり、使う人の想像力によって様々な用途に応用できる。

katagami

縮尺 1/8



material

シナ合板

thickness

15mm

how to assemble

machine

NC/レーザー(1/4inchビット使用)

tools

木工用ボンド、ゴム製ハンマー、紙やすり

notice

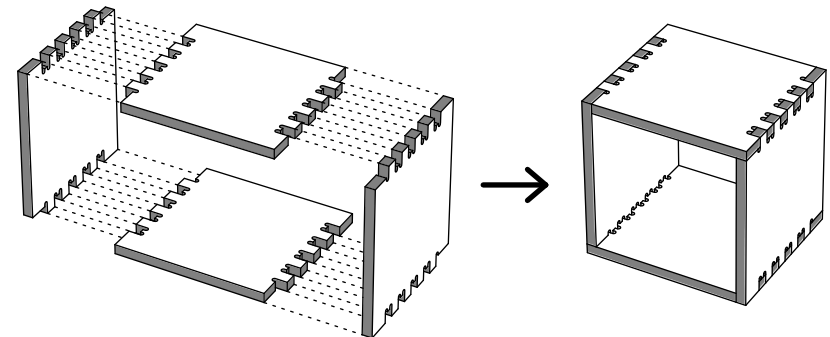
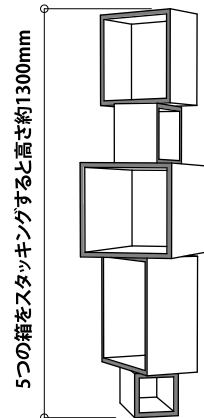
接着剤なしでも組立ちますが、木工用ボンドを併用することで強度が増します。重ねた状態で箱同士をビス留めすると安定します。

creative commons license



※営利利用をご希望の場合は、FabCafe LLPまでご連絡ください  
URL:<http://www.fabcafe.com/>

example



4枚のパーツで1つの箱を構成します。ジョイント部分に木工用ボンドを薄く塗り、手で押し込みます。仕上にゴム製ハンマーで均等に力を加えて、面がそろうまで押し込みます。ボンドが乾いたら完成です。